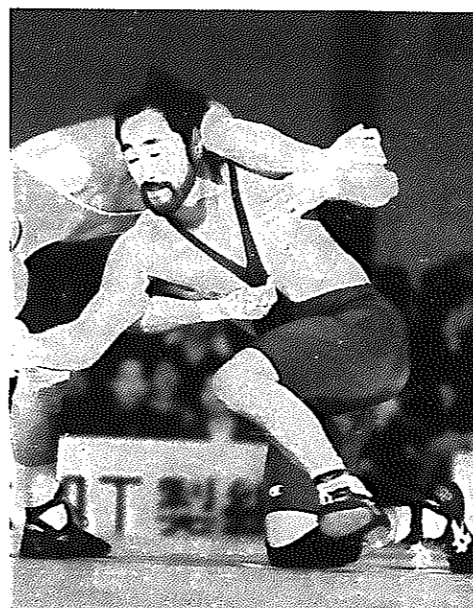
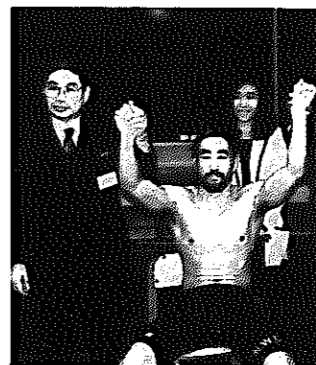


原喜彦さん バルセロナ五輪に出場決定 ソウル五輪に続く快挙

レスリングの原喜彦さん(上海・二十八歳)がソウル五輪に続き、バルセロナ五輪への出場を決めた。バルセロナ五輪の予選会を兼ねたレスリング全日本選手権は、三月十日から東京・順心女子園体育館で開催され、原さんはフリースタイル七十四キログラム級に出場。三戦全勝で見事優勝を飾り、バルセロナ五輪への切符を手に入れた。最終戦が行われた十二日には、滝沢市長ら地元応援団も駆け付け、大きな声援を送りました。



▲最終戦で角崎選手を3-2の判定で下す

▶滝沢市長、奥さんのかおりさんから、連続五輪出場決定の祝福を受ける原さん (写真提供=日刊スポーツ)

不屈の努力でこの栄冠をつかんだものです。原さんは三月二十日にBSNアナウンサーの石塚かおりさんと結婚。二重の喜びとなりました。

「バルセロナではメダルを狙う」と宣言する原さん。七月二十五日からスペインで行われるバルセロナ五輪での活躍が、大いに期待されます。

アザレアの新種登場 サンセット 青島功さん

本市に新しいアザレアの品種が誕生しました。淡いピンクに赤の縁取りが特徴という「サンセット」。鮮やかな赤はまさに日本海に沈む夕陽のイメージです。赤色系の絞りの品種はほかにありません。

生みの親は、園芸業の青島功さん(中山)。十数年前に交配して作ったもので、昨年八月に品種登録をしました。交配して新品種を作るには年数がかかることから「商売というより趣味。好きでなければなりません」と青島さん。今後は暮れの需要期を狙って出荷したいと、わが子「サンセット」の活躍に期待を寄せます。



元気の出る農業を 青年農業会議 農業フォーラム

厳しい農業情勢が続く中、元気の出る農業を目指そうと、青年農業会議(大野一正会長)が農業フォーラムを開催。会場の農協ドリームホールには二百人余りが集まりました。

まず、滝沢昭義氏(明治大学教授)がコメ市場が自由化されているタイの農業を例に挙げ、コメ管理の重要性を力説。マスコミの世論操作に惑わされることなく、消費者と生産者が手を携えて立ち上がろうと訴えました。また小林芳雄氏(県農業会議審議役)が、プロの農業者を目指せと経営の心得を講演。うなぎさながら耳を傾ける人が多く見られました。



賢い主婦になりました 暮らしの工夫セミナー

中央公民館では、三月十日から三日間「暮らしの工夫セミナー」を開催しました。「知っていると得をする!」がうたい文句のこのセミナー。洗濯、アイロンかけ、掃除の仕方を家電メーカーの専門スタッフが指導。ヤング主婦からベテラン主婦まで大勢の皆さんが受講しました。

洗濯の仕方では、毎日替えるものであれば、水の量を少なくし洗剤の量も半分程度OKとアドバイス。またには洗濯機の羽根を外して掃除をすることが、機械を長持ちさせることとも。賢い主婦になるための、本当に得する三日間でした。

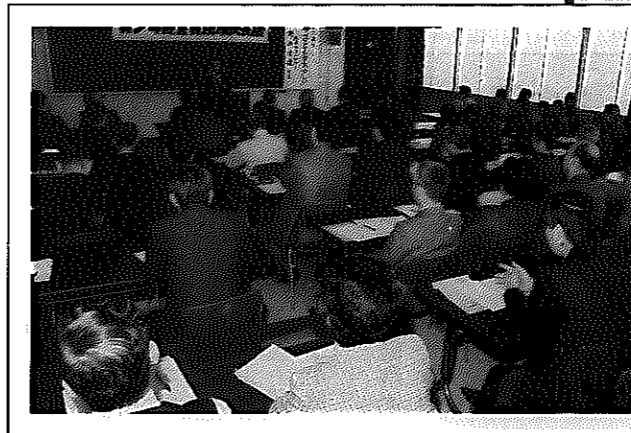


青少年の非行防止を誓う 健全育成市民会議

市民総参加で青少年の健全育成運動を進めようと、二月二十八日、青少年健全育成市民会議が行われました。会場の青年教育センターには教育関係者や一般市民など約百人が参加。家庭、学校、職場、地域など、あらゆる分野で青少年の非行防止運動を進めることを誓いました。

会議では、教育カウンセラーの野瀬吉栄さんが「今、子供がおかしい」と題して講演。現代っ子の人間関係や教育環境などについて、さまざまな事例を紹介しました。

今年は、例年行っている善行青少年表彰の該当者はありませんでした。



一針一針心を込めて バッチワーク キルト講習会

パッチワークの講習会が、大通南にある「ナマステー今日」で開催されました。講師はバッチワークが生活の一部になっているという本田享子さん(魚町)。かぼちゃ型のバスケット作りを指導しました。

この講習会は今回が三回目、同店で開かれている本田さんのパッチワーク・キルト作品展に合わせて開かれたもの。店内にはこたつカバーからピンクッションまで、力作がズラリと展示されています。参加者たちは「次はこんな物も作りたいね」と作品に見とれながら、一針一針、心を込めて縫い上げていました。



楽しみながらリハビリ 機能回復訓練教室

保健センターでは毎月、脳卒中後遺症者などを対象に機能回復訓練教室を開いています。これはレクリエーションなどで親睦を図りながら機能回復訓練を行おうというものです。

二月二十日はバスケットピンポンで楽しいひとときを過ごしました。耳慣れないスポーツですが、要領は卓球と同じ。台の大きさが普通の卓球台の四分の一ほどで、足の不自由な人でも腰掛けたまま楽しめます。熱中していると知らず知らずのうちには体を動かし、機能回復に。新年度も引き続き行われるこの教室は年々参加者も増え、成果を上げています。

